

---

# 僕は人殺しだ

ワルトマト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕は人殺しだ

### 【Nコード】

N6363S

### 【作者名】

ワルトマト

### 【あらすじ】

自分の夢で殺した人が現実でも死んでいってしまう

## やな夢（前書き）

初めての投稿です  
よろしく願います

やな夢

「や、やめてくれ」

「俺たち友達だろ」

「いやだゝ死にたくない」

グシュ

赤い液体が飛び散った

そこには手足を縛られ首を一突きにされた死体が転がっていた

ボクガコロシタノカ

ぼくがころしたのか

僕が殺したのか

ソウダボクガコロシタンダ

そうだぼくがころしたんだ

そうだ僕が殺したんだ

ボクハヒトゴロシダ

ぼくはひとりしだ

僕は人殺しだ

ハハハハハ

「僕が殺したんだ」

「僕がこの手で殺したんだ」

なんだろうとても怖い

怖い

怖い

怖い

怖い

怖い

僕が人を殺したんだ

どうしよう

どうしよう

これからどうすればいいんだろう

僕はどうすればいいんだ

わからない

ワカラナイ

ハハハハハ

僕は人を殺したんだ

僕は人殺しだ

そうだ全部あいつがいけないんだ

全部あいつがいけないんだ

僕は悪くない

僕は悪くない

僕は悪くない

ウハアアアアア

ガク

「おいタカシ」

「おいタカシ」

「タカシ起きろ」

「授業中だぞ」

「すみません先生」

「これから気をつけるように」

「ハ―イ」

「なんだその返事は」

「返事はハイだ」

「わかったか」

「ハイ」

「それでよし」

「座れ」

それにしてもやな夢だったな

きつと疲れてるんだ

今日は早く帰って

寝よう



## やな夢（後書き）

初めてなのでとてもドキドキしています  
感想などまっています

## 転校生（前書き）

2話目です感想待っています！

## 転校生

「ねえなんの夢見てたの!」

「なんでもないよ」

「おしえてよ!」

うるさいなハルカは

こいつは容姿がいいが元気がよすぎる

静かにしてたらかわいいのに

「それじゃあ帰りに教えてね!」

「わかったよ」

なんでこいつが俺の幼馴染で席が隣なんだ

友達は「いいな」と言うが俺はそう思わない

キンコーンカーンコーンキンコーンカーンコーン

起立

気をつけ

礼

さよーならー

「で 何の夢だったの！」

「まだ覚えてたのか」

「だってすごいなされてたんだもん！」

だからこいつが幼馴染なのがいやなんだ

いろんなことに首を突っ込んでくる

「いやなんでもないよ」

「教えるって言ったじゃん！」

「わかったよ」

あの夢のことを話した

「なにその夢！」

フフフフ

「笑うなよ」

「だって人を殺すって」

「タカシが」

「そんなことありえないよ」

「そうだよな」

そうだあれはただの夢だ

なんでもない

「じゃ〜ね〜！」

ハッ

もう家か

早く寝よう

朝

「いつてきまーす」

「ようハルカ」

「おはよ！」

「タカシ知ってる！」

「今日転校生がくるんだって！」

「そうなんだ」

「どんなひとかな！」

「たのしみだね！」

「早く学校いこ！」

突然走り出した

「まてよ〜」

やっぱり幼馴染は静かな子がよかった

キンコーンカーンコーンキンコーンカーンコーン

起立

気をつけ

礼

あはようございます

着席

「今日はみんなにいいお知らせがある」

「いよいよだね！」

「転校生を紹介する」

「ツバサ君来て」

え

あの顔

夢で見た

ボタン

「先生タカシ君が倒れました！」

「おいタカシタカシどうした」

「先生はタカシを保健室に連れていく」

「ツバサ君きみはタカシの後ろの席だ」

「みんなは静かに待っている」

気がついたときには保健室のベッドの上にいた



## 転校生（後書き）

2話目終了本当に感想待ってます！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6363s/>

---

僕は人殺しだ

2011年10月9日00時22分発行